

●●●第3回 感染地域ネットワーク通信●●●

今日は、七夕です。子供の頃は、願い事を短冊に書いて笹につるしたり、夜空の天の川を探していたのを思い出します。

天の川は、数えきれないほどの星が集まってできた銀河で、星の集まりが帯のように見えて、きれいな天の川になるそうです。夜空にミルクをこぼしたようにも見えることから、英語では「ミルキーウェイ」と呼ばれているそうです。

七夕の夜、今夜は曇り空になりそうですが。。。晴れ間があれば、ちょっと夜空を見上げて、天の川を探してみてくださいね♪

★☆☆

◆感染制御部 東医師より～感染情報～

クリミア・コンゴ出血熱感染地域拡大!

今まで、中央アジア（西中国含む）や中東では毎年患者が発生していましたが、最近ではインドやパキスタン、スペイン、アフリカ（モーリタニア）と感染地域が拡大しています。

クリミア・コンゴ出血熱は、ウイルスを有するマダニに咬まれること、ウイルスに感染した動物や人の血液等に接触することを通して感染することが知られています。

もし発生地域から帰国し、疑わしい症状がある場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けることが重要です。徳島県において疑い患者が発生した場合は所轄保健所に先ず、ご一報ください。

予防が最も重要です。下記リーフレットを活用し啓発活動を行っていきましょう。

＜クリミア・コンゴ出血熱について：豆知識＞

発生地域：中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

感染経路：ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、感染動物（特にヒツジなどの家畜）の血液等と接触したりして感染する。

主な症状：2～9日の潜伏期ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害など。約30%が死亡する。

感染予防：草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。また、家畜などにむやみに触れない。

[重要なお知らせ]
海外へ渡航される方へ

海外で
クリミア・コンゴ出血熱
による死亡例が発生しています！

渡航中は、
ダニに
咬まれないよう
注意してください！

○草むらに入るとは長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避けてください。
○家畜などにむやみに触れないでください。

クリミア・コンゴ出血熱

【主な症状】
2～9日の潜伏期ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害など。

【感染経路】
ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、感染動物（特にヒツジなどの家畜）と接触したりして感染する。

【発生地域】
中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

詳しくは → 検査所ホームページ FORTH <http://www.forth.go.jp> FORTH クリミア・コンゴ

厚生労働省 検査所



◆感染地域ネットワーク現況

○感染地域ネットワーク相談件数

2017年4月～6月の感染に関するお問い合わせ件数 ⇒ 3件ありました。

- ・アウトブレイク時の相談について
- ・日本紅斑熱の検査について
- ・おむつ交換の手順について

